

R8 魚津市のコミュニティ・スクール⑤

道下小学校

5/22(金)に第1回学校運営協議会が開催されました。会長に本元委員(道下地域振興会 会長)、副会長に東城委員(道下地区民生児童委員協議会 会長)が選出されました。



第1回学校運営協議会

校長の米澤委員から、学校要覧や学校だよりを基に、学校運営方針の説明がありました。その中で、「**地域とともにある学校づくり**」について、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域のよさや特色を生かした取組を推進したい、また、**地域と連携・協働することのよさ**を、児童や教職員が感じられるような機会を積み重ねていきたいとの話がありました。

令和8年度 道下小学校 学校運営の概要

〈学校の教育目標〉 豊かな心を持ち、たくましく生きる子供を育てる

〈育てたい児童像〉 やさしく(徳) かしく(知) 元気な子(体)

〈目指す学校像〉 一人一人の子供がよさを発揮し、生き生きと学ぶ学校
・子供にとって、安心して楽しく過ごせる学校
・教職員にとって、やりがいと誇りをもつことができる学校
・家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校

道下小学校では、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを家庭や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していきます。このページでは、地域と関わりの深い取組を紹介しています。

コミュニティ・スクール

※魚津市では、令和6年度よりコミュニティ・スクールを導入しています。

◆コミュニティ・スクールについて

◆令和7年度学校運営協議会の記録 第1回 第2回 第3回 NEW

◆学習サポーター

・12/11 6年家庭科(エプロンづくり)

・1/16 5年家庭科(小物づくり)

協議の中で、「自己有用感」の醸成が重要であるとの話題になりました。

その中で、

・異学年交流として「縦割り班遠足」が定着して大きな成果を上げていると認識している。

・縦割り班遠足以外でも「異学年交流」を意識した活動のさらなる充実を期待する。お世話「する」「される」体験の中で、有用感や憧れを実感することができる。

・運動会の競技に取り入れてもいいし、全校的な活動でなくても、1年生と6年生のように学年を限定した活動も工夫できるのではないかな。

など、将来の財産となる「自己有用感」について活発な意見交換がありました。



学校のHP 地域とともにある学校のページより

道下のサークル活動は、多種多様な活動があり、学校では学べない貴重な活動であるとの共通認識のもと、今年はこのべ40名の参加との報告がありました。

協議では、地域活動でのスマホ等の所持・利用や道下将棋サークル出身の服部慎一郎七段のことも話題となりました。